



# 家庭訪問型子育て支援 推進事業

平成26年5月28日

特定非営利活動法人i-net



# 団体概要

- 活動開始 2001年5月～(法人設立2004年)
- 会員数 36名 他に登録サポーター約80名  
現在は専門職を含む子育て支援者が中心
- 活動実績 子育て情報の発信  
親子交流の場の運営  
一時保育施設の運営、保育サポート等

## 【活動履歴】

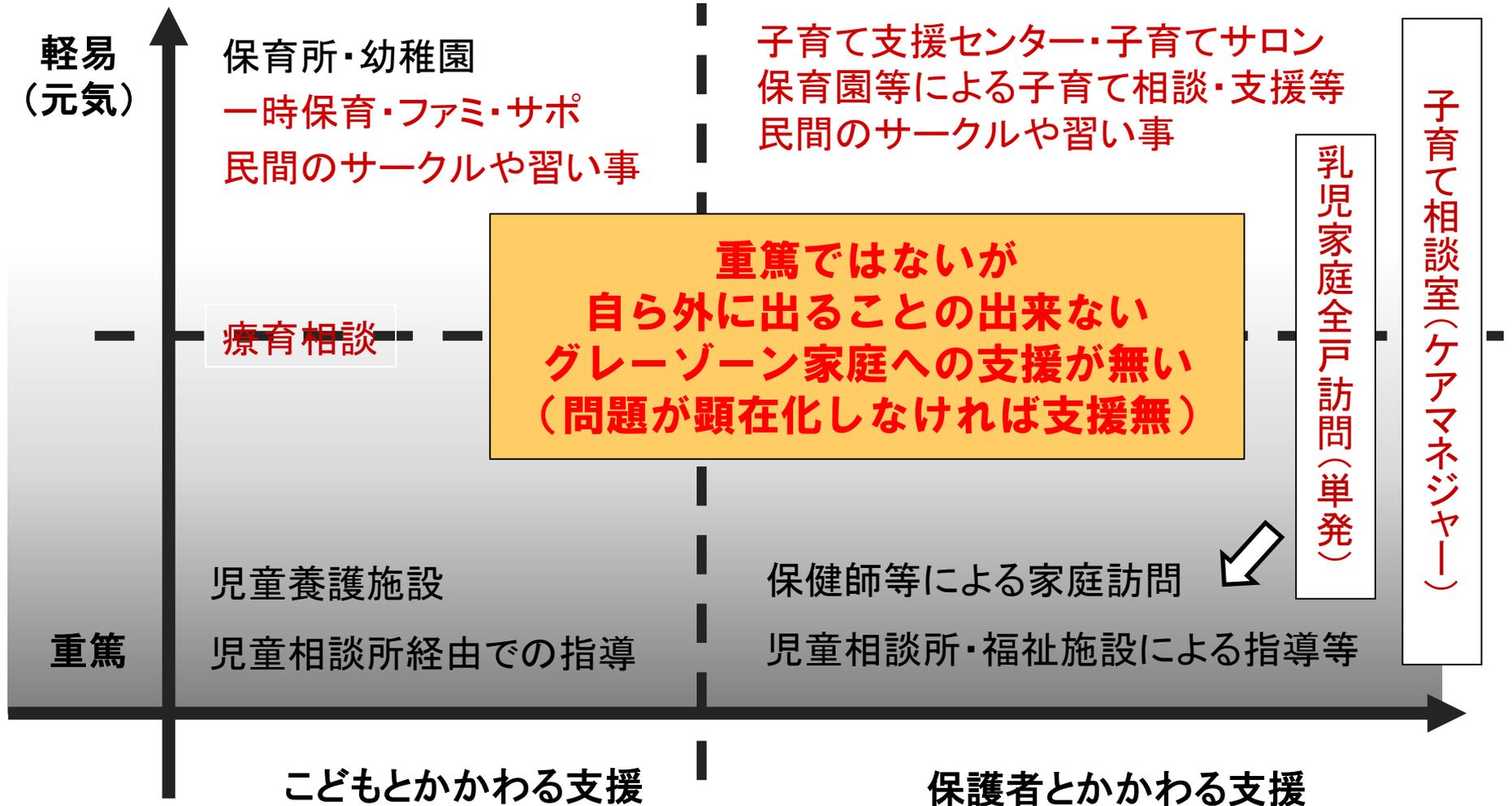
- 2001年 地域子育て情報の発信開始
- 2003年 託児付き講習会開始 / 出張子育てサロン開始
- 2004年 子育て応援メッセ開始
- 2006年 子育てガイドブックの制作開始 定期的な子育てサロンの開始
- 2007年 明海つどいのひろば(子育てサロン・一時預かり)開始  
病児・緊急時預かり保育サポート開始(ちばっ子ネット)
- 2009年 保育サポーター(集団託児・個別保育)の開始
- 2010年 家庭訪問型子育て支援ホームスタート開始・定期一時保育「保育室ゆるり」運営開始
- 2012年 産前産後サポート開始
- 2013年 森のようちえん こどもの時間開始

# 背景及び地域の課題・ニーズ

子育て家庭の94%が核家族世帯  
保護者の孤立・育児負担増 → 虐待不安

- 親子交流の場（支援センター・サロン）の拡充
- 一時預かり保育の拡充
- ファミリーサポートセンターの設置
- 子育て相談室（子育てケアマネージャー）
- 乳児家庭全戸訪問（産後に1回訪問）

# 浦安の子育てを取り巻く状況





# 家庭訪問型子育て支援ホームスタート

## 先輩ママ・ボランティアによる 協働と傾聴の家庭訪問型子育て支援

- 未就学児を子育て中の家庭を対象に
- 地域の先輩ママ(事前に8日間の研修必須)が
- 無償で家庭を訪問し(4回・週1回・2時間程度)
- お友だちのようにお話を伺ったり(傾聴)
- 一緒に何かするなどして(協働)

前向きな気持ちを取り戻したり地域に繋がる手助けをします

# 事業実施内容 ①

## 事務局を開設(年135日・816時間)

- 活動に関する問合せ・利用希望者への対応
- 家庭訪問の調整
- 訪問関連書類の作成・訪問データの入力・整備
- 運営委員会や行政との打合せ  
準備・立会・片付け・議事録作成
- 広報ツールの制作・印刷・配布
- アドバイザーを含めた進捗管理
- ボランティアからの連絡の一次対応
- 会計処理 等





# 事業実施内容 ①(補足)

## 広報展開（チラシ8000枚・56か所配布）

行政窓口・公民館等の公共施設

子育て支援施設（子育て支援センター・つどいの広場・幼稚園  
すこやか子育て広場・ほのぼのタイム）

浦安市社会福祉協議会・不動産会社・生協会員等

その他の活動

- 広報紙掲載（広報うらやす他 計5誌）
- ホームページの運営
- イベント出展2回（子育て応援メッセ・市民活動フェス）

## 事業実施内容 ②

### 専門家等による運営委員会の設置

#### ○ 委員会メンバー

団体内HS担当役員・OG・事務スタッフ

臨床心理士・助産師・民生委員(主任児童委員)・保育士

#### ○ 開催:2回/年

- 家庭訪問の状況確認
- オーガナイザーへのアドバイス
- スキームの組織運営への助言など



# 事業実施内容 ③

## 行政(浦安市健康福祉部)との連携

- 年4回の打合せを実施
- 浦安市には広報協力を頂く

広報うらやす2013年5月1日号

**相談 1** 誰に話せば良いの?

ママ: 子どもが小さく、なかなか外に出られません。子育て経験者と話したいと思います。

子育てケアマネジャー: 「家庭訪問型子育て支援ホームスタート」を利用して、ボランティアの方に来てもらうのはどうですか。あなたの家に来てくれる友達のような存在の方よ。

**実際に利用した方などにインタビュー**

**利用者** 芳賀 千絵さん(明海在住)  
8カ月のふたご3歳の子どもを子育て中。ふたごの子どもが4カ月の時に家庭訪問型子育て支援ホームスタートを利用。

●予想以上の効果  
ピジターさんが来てくれることで、ミルクをあげるなどの身体面で楽になったのはもちろんですが、小さな不安も、その場で話し、親観的な意見や経験談を聞けるので精神面でも大変になりました。

●交流するきっかけも  
親子が集える場があっても、一人で踏み出しづらい方が多いと思います。ピジターさんはそのママたちと交流するきっかけも得られます。

●初めての子育てはわからないことだらけだと感じます。私は、この事業のことを知っていたら、一人目の子どもときもきかず利用したと思います。皆さんも、ピジターさんの力を借りることをおすすめします。

**ピジター** 稲田 藤子さん(入船在住)  
家庭訪問型子育て支援ホームスタートのピジターとして芳賀さんのお宅を訪問。

自分の子育て中は、緊張しっぱなしだったことを覚えています。子どもが大きくなった、振りかえると、もっとゆったりと子育てを楽しめればよかったです。

この経験をもとに、利用する方がどうしたいのか、何をサポートしてほしいのかを聞き出し、それを届けてあげてお手伝いできるようにしています。

この活動で一番うれしいのは、利用する方が子育てに対する力をうまく抜き、一瞬、一瞬のこどもの表情を楽しめるようになったことです。これからも、たくさんの子どもの笑顔を見られるよう、活動していきたいと思っています。

芳賀さん 稲田さん

**家庭訪問型子育て支援ホームスタート**

子育てをする時、特に子どもが小さい頃には、誰でも不安があり、周囲の交流が必要です。家庭訪問型子育て支援ホームスタートは、地域の先輩ママがボランティアとして家庭を訪問し、話をしたり、家事や外出を一緒にしたりする事で、4月から、市立NPO法人「人と人をネットワークする」が主催する子育て支援センター(オアシス)が訪問し、お話を伺います。

※ベビーシッターや家事代行ではありません。

対象	市内在住の未就学児の保護者
内容	週1回2回で4回程度、ボランティアが訪問します
申込・問い合わせ	電話で、NPO法人 i-net ☎350・8615A

(健康増進課)

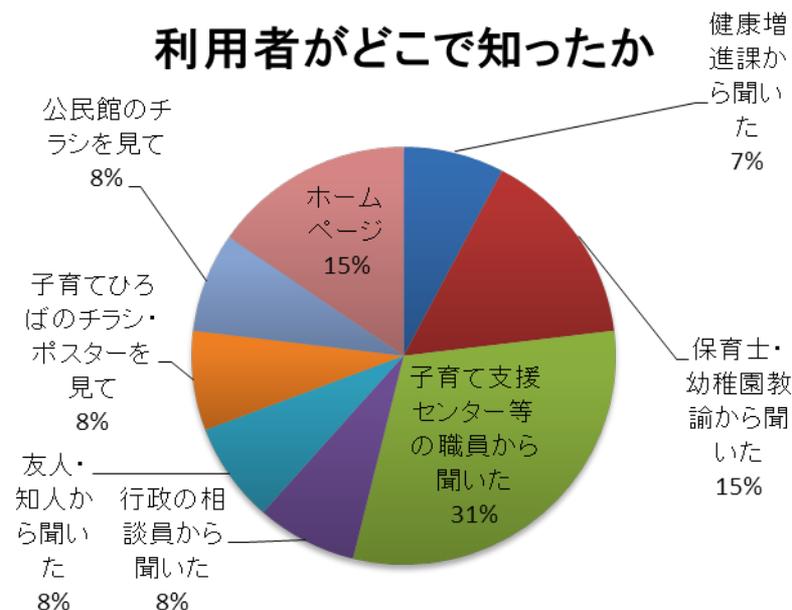


# 事業実施内容 ④

家庭訪問の実施・13件 問合せ：約30件

- 支援者の紹介 69%
- チラシ・ポスター 16%
- ホームページ 15%

利用者がどこで知ったか

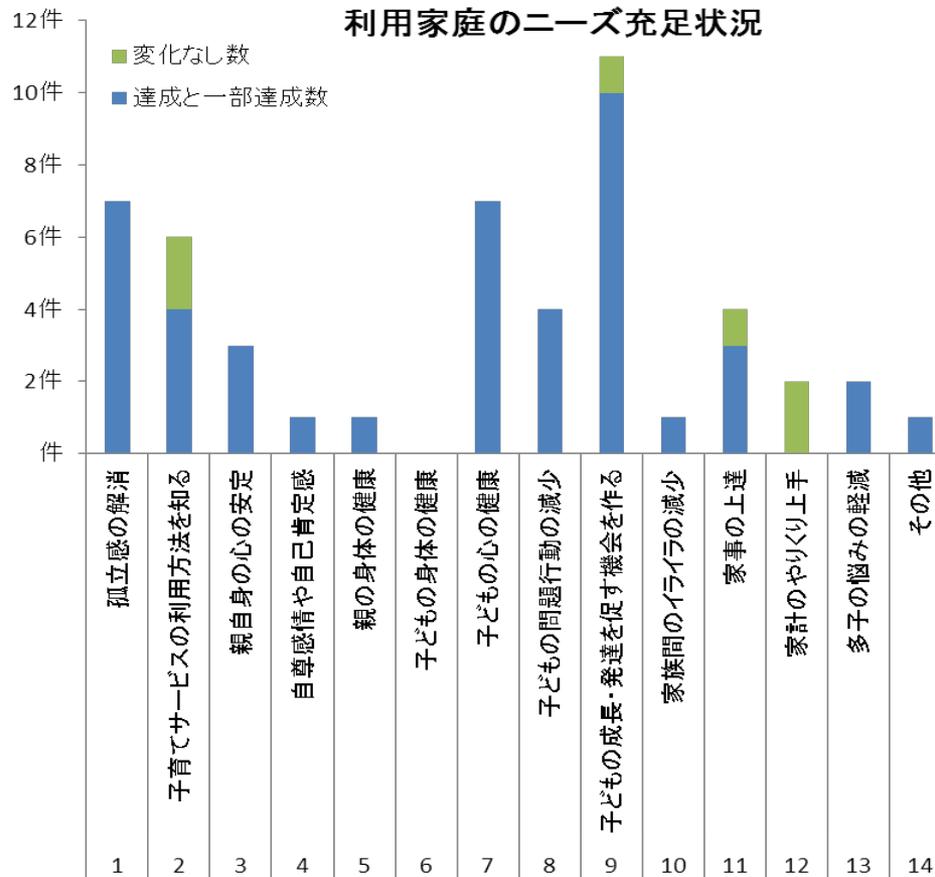


支援者からの紹介が約7割



# 事業実施効果①

## ニーズ充足率 88%



## 事業実施効果 ②

### 利用者の声（活動後のアンケート抜粋）

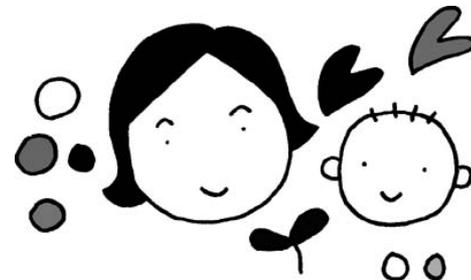
ボランティアさんと一緒に子育て情報を探しに行って、一時預かりまで申し込むことができました。



ボランティアさんが気持ちに寄り添ってくれたことがありがたかった。

ボランティアさんにたくさんほめてもらったことで、自分には自信がつき、子どもには笑顔が増えた。

話をしていくうちに、子どもだけでなく、自分のことも大切にしようと思えるようになった。



# 利用家庭のその後

地域とのつながりができた  
HSは孤立化防止のセーフティネットとして有効

地域子育て支援拠点をよく利用している	4
一時預かりに登録・利用している	2
子どものサークルに所属して活動している	1
ファミリーサポートセンターに登録した	1
プリスクールに入園して、通園している	1
ママ向けサークルを見つけて入会、活動参加	1
幼稚園に入園した	1
転居して市外に転出	2
合計	13





## 最後に

問題をかかえた家庭は特別な家庭ではない。

～ 誰もが虐待や疾病等のリスクをはらんでいる ～

家庭訪問型子育て支援は未然の支援です。

～問題が起こってから対処するのではなく、未然に予防します～

今後引き続き活動を続けていきます。